

韓国政府日本教職員招へいプログラム代替事業
日韓教職員オンライン対話プログラム

(2020年10月11日～10月17日)

募 集 要 項

公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター(ACCU)は、アジア太平洋地域の国々の相互理解と友好を促進し、平和で持続可能な世界の実現に資するため、「韓国政府日本教職員招へいプログラム代替事業日韓教職員オンライン対話プログラム」を実施します。つきましては、公募で参加者 20 名を以下のとおり募集します。

1. 教職員国際交流事業について

公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター(ACCU)は、ユネスコの基本理念に基づき、多様な文化が尊重される平和で持続可能な社会の実現に資するため、アジア太平洋の人々と協働し、教育と文化の分野において地域協力・交流活動を推進しています。ユネスコ憲章の「戦争は人の心の中で生れるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない。」という言葉に沿い、ACCU はその活動の一つとして、アジア太平洋地域の国々の相互理解と友好の促進を目的に、未来を担う多くの子どもたちに影響力を持つ「教職員」を対象とした国際交流事業を2001年より開始しました。それにより、日本と韓国・中国・タイ・インドとの間で、これまでに 5 千人近くの教職員の国際交流が行われ、教職員の学びが数多くの生徒に還元されるほか、学校レベルでの国際交流が生まれ、各国間での相互理解と友好の促進に貢献してきました。

2015 年に「持続可能な開発目標(SDGs)」が世界全体で共に取り組むべき普遍的な目標として国連で採択され、近年は日本においても SDGs 達成に向けた取り組みが学校・地域・企業等で活発化しています。「平成 29・30 年改訂 学習指導要領」では前文および総則に、「国際社会の平和と発展へ寄与する態度を養うこと」が教育目標の一つとして挙げられると共に、これからの学校ではあらゆる他者を尊重し多様な人々と協働し「持続可能な社会の創り手」となる児童生徒の育成が求められると述べられており、各教科等においても関連する内容が盛り込まれました。この教職員国際交流事業は、平和で持続可能な社会の創り手を育成する教職員の方々に、顔の見える国際交流による国を超えた学び合いの機会を提供し、SDGs の達成に共に貢献します。

2. 韓国政府日本教職員招へいプログラム(韓国派遣プログラム)について

日本と韓国間の事業に関しては、2001 年より韓国の教職員を日本へ招へいするプログラムを、2003 年からは日本の教職員を韓国へ派遣するプログラムを、文部科学省、国際連合大学、韓国教育部、韓国ユネスコ国内委員会(KNCU)の協力のもとで実施してきました。本年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、韓国政府日本教職員招へいプログラムの代替事業の一つとして、文部科学省委託「令和 2 年度初等中等教職員国際交流事業」の一環で実施されます。韓国ユネスコ国内委員会(KNCU)の主催により 20 名の日本教職員が韓国教職員とオンラインによる対話を軸に交流を深めます。

3. 実施目的

本プログラムの目的は、プログラム中の活動を通じて、教職員が相手国に対する理解を深めると共にお互いに学び合い、相手国の教職員や生徒との相互理解と友好を促進し、教職員間のネットワークを構築・強化することです。本年度はとりわけ新型コロナウイルス感染拡大によって教育現場が大きな影響を受ける中で日韓教職員が互いの経験・知見を共有する学び合いにより、今の時代の新しい協働のあり方について模索していきます。プログラム終了後には、教職員が自身の学びを教育現場において児童・生徒・教職員・地域住民等に伝え、国際理解教育・持続可能な開発のための教育(ESD)・地球市民教育(GCED)等を推進す

文部科学省委託「令和2年度初等中等教職員国際交流事業」

る担い手となり、ひいては日韓間の相互理解と友好の促進、そして平和で持続可能な世界の実現に繋がることを目指しています。

4. 活動内容

- ・ 韓国の教育制度やユネスコスクールの活動等についてのオンライン講義受講
- ・ 韓国教職員との通訳を介したオンライン交流
(新型コロナウイルスの影響下において教育現場および地域で持続可能な社会を作っていくための地球市民教育や平和教育に関する意見交換等)
- ・ オンラインフォーラムへの参加

5. 日程概要

2020年10月11日(日)～10月17日(土)のうち4日間(全てオンラインで実施)

| 日付 | 日程 | 活動 |
|--------------------------------|--------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 10月11日(日) 14時～16時 | 第1日目 | ・オリエンテーション ・開会式 ・講義(韓国の教育事情、ユネスコスクールの活動等) |
| 10月12日(月) ～16日(金) ※うち2日間 | 第2～3日目 | ・小グループでのオンライン意見交換会 ※期間中に2回、1～2時間実施の予定です。開始時刻は18時以降で調整中です。 |
| 10月17日(土) 14時～17時 | 第4日目 | ・オンラインフォーラム 大テーマ:日韓両国の教育現場は新型コロナウイルスによりどのような影響を受けたか/この時代における新しい協働のあり方の模索 ・閉会式 |

※プログラムのスケジュールおよび時間帯については、状況に応じて変更される可能性があります。

※新型コロナウイルスの感染拡大状況により、プログラムが延期または中止される可能性があります。

6. 言語

プログラム期間中は、日本語－韓国語の通訳が手配されます。

7. 参加者

日本の初等中等教育に携わる教職員20名を参加者とする。

8. 応募資格

- (1)国際交流・国際理解教育・ESD・GCED やユネスコスクールとしての活動に携わっている、または高い関心を持っており、韓国の教職員と積極的に交流し、プログラム後にはそれらの活動推進に寄与できる者。
- (2)初等中等教育の教職員であること。
- (3)オンラインにより提供されるプログラムの全日程に参加が可能であること。

(4)Eメールを用いて円滑に連絡ができ、また Microsoft Word/Excel を用いて所定フォーマットに必要情報を入力し提出できること。

※ 過去に韓国政府日本教職員招へいプログラムにより韓国を訪問したり、韓国教職員の訪問受け入れに協力したことがある教職員や、英語または韓国語によるコミュニケーションの高い教職員の参加を歓迎します。

9. 応募方法

指定の応募用紙(電子ファイル)にご記入の上、ユネスコ・アジア文化センター国際教育交流部 accu-exchange_ml@accu.or.jp にメールで送付して下さい(手書きの応募書類は受け付けません)。

件名は「令和2年度 日韓教職員オンライン対話プログラム応募」(氏名)としてください。応募は**先着順**で受け付けます。

応募書類ダウンロード先: <http://www.accu.or.jp/> または <https://edu-tree.mext.go.jp/>(「お知らせ」からアクセス)

●データシート(指定様式)

韓国ユネスコ国内委員会(KNCU)による英文の書式です。英語での記述が難しい方は、日本語で記載しても構いません。

10. 応募締切

締め切りは **9月25日(金)15時**とします。

応募は**先着順**で受け付け、20名に達し次第、応募を締め切ります。

ACCUからの「応募受付」のメール返信をもって参加が確定します。

11. 評価と報告

参加者は次のとおりプログラムの評価を行う。

- ・プログラム終了後、ACCUの実施するオンラインアンケートに回答する。

12. 注意事項

プログラム中に撮影した写真等は、ACCU、文部科学省、韓国ユネスコ国内委員会の報告書・冊子・ホームページ等の情報媒体に使用されることがあります。参加者はあらかじめ了承した上でご応募下さい。

13. お問い合わせ

公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター(ACCU)

国際教育交流部(担当:高松・天満)

〒101-0051 東京都千代田区神保町 1-32-7F 出版クラブビル

TEL:03-5577-2853 / FAX:03-5577-2854

Email: accu-exchange_ml@accu.or.jp